

世界は新型コロナウイルスの感染拡大のニュースと気候変動の為の自然災害のニュースが飛び交っております。日本では緊急事態宣言の延長のようで、緊張が続いているのではないのでしょうか。ドイツでは一時、感染者数が減り、収束の兆しが見えましたが、最近は再び増加傾向にあります。感染者数により規制が変わるので、領事館から送られてくるニュースを把握しながらの生活です。

このような状況下で7月29日～8月1日、フランス・ストラスブールにて「欧州キリスト者の集い」が開催され、感染者が一人も出ずに4日間の集会が守られたことは奇跡的なことでした。直前にはドイツ西部の洪水災害による鉄道・高速道路の混乱、又、集会にご一緒する予定だった教会員の二人の姉妹は、コロナウィルスの感染リスクを避けるために、直前に参加をキャンセルされる等、様々なハプニングが重なりました。しかし、全てを主が守ってくださり、そして皆様のお祈りに支えられて、ご奉仕の任も果たすことができ感謝しております。集会の詳細は、9月発行予定の「ニュースレター」にて報告させていただきます。

去年はコロナ禍の中で身動きもとれず、静かな夏を過ごしましたが、今年は随分とアクティブになったものです。ママの会に出席されていたご家族の送別会、しかし、同時に新しい方が礼拝に参加されるようになり、どのような状況でも教会は前を向いて歩み続けていると思わされています。

又、7月は教会員の方のご子息のお店のオープン、ご結婚等、明るいニュースもありましたが、家庭集会に集っておられた方、そして、神学校時代にとてもお世話になった恩師が召され、一抹の寂しさを覚える7月でもありました。

今年のドイツの夏は、一時猛暑に見舞われましたが、比較的涼しい夏でした。22時頃まで明るかった夜空も、「秋の日はつるべ落とし」と言われているように、急速に夜が長くなってきています。太陽があまり出ない季節を迎えようとしており、そろそろ心の準備をしてゆく時期に入ってきました。

立秋を迎えて日本もそろそろ秋の気配を感じる頃でしょうか。夏のお疲れがでませんようにお祈りしております。



恒例となった夏のお仕事
朝顔と紫蘇の成長が楽しみ



いざ、日本へ！
日本に帰国されるご一家をお見送り、
笑顔で送ることができました。
心は・・・



孫とのお別れ・・・
ドイツのおばあちゃんを
覚えていてね！

まだまだたくさんの孫がこの地
にあります。
ファイト！



朝顔その2
日本から朝顔のカードが送られてきました。
嬉しいお気遣いです。

